

## 一年の無病息災を祈る

1月3日(水)、釜谷地区で「大般若経巡行」が行われました。

この巡行は、羽織姿に草履という伝統の服装をまとった地区内の長男ら跡取りなどが、観音寺に納められている60巻の経文を6つの経ひつに分納し、二人一組で担ぎながら各戸を回り、無病息災、家内安全などを祈願するものです。

当日は行列の先頭に獅子舞が立ち、太鼓や笛のおはやしに合わせて各戸で舞を披露しながら、地区内を練り歩きました。



## 河南地区

### 手作りケーキで

### わきあひあい

12月19日(火)、須江保育所で、老人クラブと一緒にケーキ作り交流会が行われました。

須江保育所では、世代間交流の一環として年3回ほど、このような老人クラブとの交流を催しています。

この日は、糠塚、鶴、沢田地区の老人クラブから12人が参加し、12月生まれの園児と同じ冠を被って誕生会を行った後、ロールカステラへ生クリームやイチゴで飾りつけたケーキを作りおいしそうに食べていました。また、クリスマスも近かったこともあり、年



長見からさつまいものツルで作ったリースをプレゼントされとても喜んでいました。

## 雄勝地区

### 文化財を

### 火災から守ります!

1月14日(月)、雄勝字寺地区にある天



雄寺で文化財火災防ぎよ訓練が行われました。この訓練は文化財愛護思想の高揚と参加協力を得る消防機関と連絡を密にし、文化財災害防ぎよ体制の確立を図ることを目的として毎年行われるものです。1月26

日の文化財防火デーに先だち行われたこの訓練では、雄勝消防団第1分団による単独・中継隊形放水などの訓練が行われ、いざというときの役割分担を再確認していました。

## 桃生地区

### 新年を祝う

### 住民花火

1月1日(月)午前0時、新年を迎えると同時に、桃生町牛田地区の雷神社で初詣花火大会が行われました。

これは、地区住民の融和を図ろうと初詣花火大会実行委員会(実行委員長・千葉榮俊さん)が実施したものです。

新年を迎えるカウントダウン後、約30分にわたり花火が打



ち上げられ、新年の夜空に色鮮やかな大輪を咲かせました。初詣に訪れた方々は、地元産のそば粉を使った年越しそばを味わいながら、地区の皆さんとともに新年を祝いました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

## 牡鹿地区

この舞いは、無病息災や大漁満足などを祈って行われるものです。リーグターである統領(とうりょう)を中心に子ども達が海岸や集会場などで舞い踊ると、詰め掛けた住民の皆さんからは、祝儀や大きな拍手が送られました。



### 大黒舞を見つさいな

1月5日(金)、牡鹿地区寄磯浜で「子ども大黒舞」が行われました。

「子ども大黒舞」は、古くから寄磯浜に伝わるお正月の伝統行事で、地区の小中学生が七福神の衣装を身にまとい、太鼓のリズムに合わせて「大黒舞を見つさいな」と歌いながら舞い踊りました。

## 北上地区



### 合格祈願！ヨシの輪へんり

川河口に群生するヨシで作ったヨシの輪は「縁起の良いヨシ」として知られており、これをくぐり抜けることで「けがれを祓い、身を清め、祈願が成就」

26日(火) 12月 釣石神社の「ヨシの輪くぐり初め」が行われました。

して良い年になると信じられています。地元の氏子により年の瀬に飾り付けが行われており、今年で9年目になります。この日の午後、北上中学校3年生の生徒25人が巨石に紅白のしめ縄をあしらった釣石神社の境内に集合。雨が降り寒い日でしたが、神事が行われた後、全員で直径4メートルもある「ヨシの輪」をくぐり、合格祈願の思いを込め、一歩一歩確かめながら石段を登りました。釣石神社にあるご神体の巨石が、昭和53年の宮城県沖地震でも「ワともしなかつた」ことから、「落ちそうであちない受験の神様」として広く信仰され多くの参拝者が訪れています。

## 石巻地区



### お正月の遊びはあそび

1月13日(土)、中央児童館では、新年お楽しみ会が開かれ、集まった小学生が、昔ながらの遊びを楽しみました。

お正月、子ども達は、「友情」「幸福」「へんぎょ」「金運」など、各自の大切なものや新年の抱負・夢を「書初め」しました。それからけん玉とコマ遊びを行い、それぞれ、1分間で何回大皿に玉を乗せられるか、一番長くコマをまわせたのは誰か、というコンテストを行い、一番になった子には賞状が贈られました。

コマ遊びでは、高学年の参加者もいるなかで、2年生の男の子が一番になり、みんなが賞賛を浴びていました。最後に、昔ながらのおかめ・今年の干支であるイノシシ、アニメキャラクターの福笑い遊び、今年最初のお楽しみイベントをみんなで楽しみました。

### 丸ごとフェスティバル

### おいしい市産品を格安販売

12月16日(土)・17日(日)の両日、「石巻まるごとフェスティバル」がアイトピア通りで行われ、多くの買い物客でにぎわいました。

これは、中心市街地ににぎわいを取り戻そうと、昨年までいしのまき農協西倉庫で実施してきた「市産品まつり」の名称と会場を変更して、中心商店街の車道を車両通行止めにして36店が出店しました。

セシエーの後、威勢のいい「石巻日高見太鼓」の演奏を合図に販売が開始されました。店頭には、カキ・ホタテなど旬の水産物や加工品、それに雑



煮用の焼きハゼ、カズノコなどの正月用食材、新鮮な野菜などが格安で並び、人々の人気を集めています。

また、鯨肉の頒布、消防車やパトロールカーの展示、民俗芸能・ヒーローショーなども行われ、訪れた人を楽しませていました。